

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年11月30日

計画の名称	人にやさしく、安心・安全ですみよいまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	新発田市												
計画の目標	新発田市地域防災計画において、指定緊急避難場所等に位置付けられている都市公園の防災機能の向上や避難しやすいよう園路等公園施設のバリアフリー化を推進する。 同時に公園施設の改修等を行うことにより、安全で安心できる住みよいまちづくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	614	A	574	B	0	C	40	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	6.51	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	危険度判定調査により、改修が必要な遊具を有する都市公園を減らし、安全が確保された都市公園を26%（H27）から61%（H31）に増加させる。 危険な遊具のある都市公園改修率（危険度判定調査により改修が必要な遊具を有する都市公園について、改修実績をもとに算出する。） （安全が確保された都市公園改修率）=（安全が確保された都市公園数）/（都市公園数）	26%	36%	61%
2	公園一人あたりの面積は、全市で16.5㎡/人となっており、整備水準は満たしているが、海岸部には、津波に対する一時避難施設が必要となっている。一時避難場所となる防災仕様の公園を整備し、避難人口を0人から150人に増加させる。（有効避難面積目標300㎡） 海岸部の公園を防災仕様に改築する。 （避難計画人口）=（有効避難面積）/（一人当りの有効避難面積） 計画の目安 2㎡/人	0人	0人	150人

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	新発田市	直接	新発田市	-	-	都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業（新発 田市）	避難場所看板設置	新発田市						40	-		
		都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業（A12-001）と一体的に誘導施設（案内施設）等を設置することにより、防災機能を向上させる。																		
												小計						40		
											合計						40			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 新発田市維持管理課	事後評価の実施時期 令和2年度
	公表の方法 新発田市のホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	遊具等の公園施設の改修を計画的に進め、要対策施設の解消をすることで公園の信頼性を高めることができ、利用者の安全・安心に努めることができました。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
これまでの点検により改修等が必要と判定された公園施設について、今後も着実な改修に努めていきます。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	安全が確保された都市公園改修率	
	最終目標値	61%
	最終実績値	57%
2	避難計画人口	
	最終目標値	150人
	最終実績値	181人